

イベント開催の報告

2003年度 JNSA WG 成果報告会レポート

JNSAの各WGの活動成果報告会が下記の要領で開催されました。

2004年5月18日(火) 10:00～15:30

会場：大手町サンケイプラザ

会場いっぱいの盛況で、関心の高さを物語っていました。簡単に内容をご紹介します。



303号室

教育部会	10:00～12:00
10:00～10:30	「情報セキュリティ教育の動向とJNSA」 教育部会長 東京電機大学教授 佐々木良一先生
10:30～11:10	スキルマップ作成WG (株)富士総合研究所 佐久間敦氏
11:10～11:20	休憩
11:20～12:00	ITSS実証実験評価WG (株)ヒューコム 松田剛氏
12:00～13:00	昼休み
政策部会	13:00～15:30
13:10～13:50	個人情報保護ガイドライン作成WG (株)大塚商会 佐藤憲一氏
13:50～14:10	プライバシー保護実装研究WG 日本IBMシステムズ・エンジニアリング(株) 久波健二氏
14:10～14:20	休憩
14:20～15:00	セキュリティ被害調査WG 損保ジャパン・リスクマネジメント(株) 山本匡氏
15:00～15:30	情報流通検討委員会 横河電機(株) 武智洋氏

1. 教育部会

教育部会長の佐々木先生から、情報セキュリティ教育の動向についてのお話がありました。技術者教育とともにリテラシー教育の重要性についても指摘され、特にJNSAのインシデント調査のデータを利用して、社内教育の有無とセキュリティに関する被害の有無との関連があることをあげられました。

この後、スキルマップ作成WGの報告書の紹介と、ITSS実証実験の内容について報告されました。

2. 政策部会

最初に政策部会長の下村氏から挨拶があり、個人情報保護ガイドライン作成WGの報告が行われました。WGでは「個人情報保護法対策 セキュリティ実践マニュアル」を執筆しており、この情報も紹介されました。

次に新しくできたプライバシー保護実装研究WGが紹介され、プライバシー保護のために必要なセキュリティ機能のリスト作成や実際に実現するための要件調査などの活動予定について報告がされました。

休憩を挟んで、セキュリティ被害調査WGから、3回目となる報告書について説明があり、2003年度の試みとして、情報漏洩があった場合の損害賠償額の予想計算式について解説されました。

最後に情報流通検討委員会について状況報告がありました。6月30日のN+I 2004Tokyoのコンファレンスの場で「セキュリティ対策推進協議会」の設立について発表されましたが、今後は協議会としてセキュリティー対策情報の円滑な伝達を実現して行くことが紹介されました。

3. 技術部会

教育部会、政策部会の隣の部屋で、別トラックとして技術部会の報告会が開催されました。技術部会は丸1日の発表が行われ、活発な活動を印象付けていました。

セキュリティポリシーWGは、ポリシーから脅威・脆弱性および残存脅威を導いた考え方について説明しました。また、2004年度の活動として、ISMSやJIS X5080との適合性や、サンプルの全面見直しを行う予定であることが示されました。

暗号使用ポリシーテンプレート作成WGは、データ暗号化(情報の機密性)のための暗号使用ポリシーテンプレートを作成したことが報告されました。

情報セキュリティ標準調査WGは、情報セキュリティに関する標準、認定制度などには多くの規格があり、相互関係が整理されていないとの認識で、ISO15408, 17799, ISMS, SSE-CMM等の関連をまとめて一覧表を作り公開したことが説明されました。

セキュアOSとその活用方法研究WGは、各社のTrustedOSまたはSecureOSと呼ばれているものの勉強会を行い、日本国内におけるセキュアOS市場の動向を歴史にそってまとめました。

不正プログラム調査WGは、不正プログラムの定義、分類、構造、対策などについて調査分析を行い、報告書が作成されました。

Webセキュリティ調査・検証WGは、Web環境に特化した攻撃手法やその対策を調査・研究することを目標にし、Webの脆弱性・Webに特化した攻撃手法の調査、および具体的な対策の調査、攻撃検知・防御ソリューションによる対策実証実験を行います。

ここで昼休みを挟み、午後からはPKI相互運用技術WGから報告されました。ChallengePKIの活動を中心に、2003年度は「セキュリティAPI」や「タイムスタンプ」といったより具体的な詳細な内容に踏み込んでいます。IETFに対する国際標準にもインターネットドラフトを提案するなど、国際的な役割が認識されてきています。2004年の11月にはRFCとして提案することを予定しています。

電子署名検討WGは、電子署名活用モデルの提案を目標に設立されました。まず、「阻害要因の分析」を行い、公的個人認証サービスに関する意見・情報の交換を行って、電子署名を取りまく環境の再確認を行いました。2004年度は活用モデルについて考察する予定でしたが、ひとまずS/MIMEにおける電子署名の使われ方という具体的なテーマで実証実験などを行う予定となっています。

データストレージ&セキュリティWGは、JNSAとJDSF(日本データストレージフォーラム)が合同で設置したWGで、セキュリティを重視したデータマネジメントのあり方について検討しています。

インターネットVPN-WGは、インターネットVPNを導入する際の注意点、安全なVPNを実現するための運用方法などについて考察することを目的としています。色々なVPN方式について比較検討しています。

コンテンツセキュリティWGは、コンテンツセキュリティの

新たな定義を提案し、コンテンツの不正流通を監視することなどにも視点を置いています。

ハニーポットWGは、実際に複数のハニーポットを構築して使い方や、どのような利用方法が適しているのかを考え、更にデータ(LOG)の利用の仕方、また、収集した情報に含まれるプライベート情報の取り扱い方などについても調査・考察することを目指しています。

以上、簡単に昨年度の活動をご紹介しましたが、JNSAのWebページに更に詳しい内容が掲載されていますので、ぜひご参照ください。また、各WGの活動内容については、実際にWGにご出席いただくのが一番正確な情報が得られます。一度事務局までご相談いただければ、調整いたしますので、ぜひご連絡ください。

304号室	
技術部会	10:00～15:30
10:05～10:35	セキュリティポリシーWG (株)NTTデータ 土屋茂樹氏
10:35～10:55	暗号使用ポリシーテンプレート作成WG (株)アークン 板倉行男氏
10:55～11:05	休憩
11:05～11:15	情報セキュリティ標準調査WG セコム(株)IS研究所 渡並智氏
11:15～11:25	セキュアOSとその活用方法研究WG 日本高信頼システム(株) 澤田栄浩氏
11:25～11:45	不正プログラム調査WG (株)アークン 渡部章氏
11:45～12:00	Webセキュリティ調査・検証WG (株)アークン 斉藤純平氏
12:00～13:00	昼休み
13:00～13:30	PKI相互運用技術WG セコム(株)IS研究所 松本泰氏
13:30～14:00	電子署名検討WG NTTコムウェア(株) 磐城洋介氏
14:00～14:10	休憩
14:10～14:30	データストレージ&セキュリティWG (株)ネットマークス 内田昌宏氏
14:30～14:50	インターネットVPN-WG セコムトラストネット(株) 若林進二郎氏
14:50～15:10	コンテンツセキュリティWG (株)ネットアーク 松本直人氏
15:10～15:30	ハニーポットWG 園田道夫氏